

あこう



市議会だより

第160号



令和3年8月10日発行

2P

・定例会のあらまし・一般質問

3～4P

・一般質問

5～6P

・一般質問・議案の議決結果・議員別賛否一覧

・常任委員会等審査から など

7P

・議会活性化に関する取り組み など

8P

・議会活動状況・9月定例会・常任委員会の日程(案)

・議員表彰・編集後記 など

発行・赤穂市議会 編集・議会報編集委員会

赤穂市加里屋81 TEL 0791-43-6876 FAX 0791-43-6893

ホームページ

赤穂市議会

検索



市政の課題 将来の展望を



ただ 質す

6月23日(7名)、24日(3名)の計10名が登壇し、市政の課題や将来展望に対する考え方について一般質問を行いました。

今後のワクチン接種について

釣 昭彦 議員



問 新型コロナウイルス感染症の拡大を抑えるワクチン接種の拡充を多くの市民は願っております。大規模接種会場の設置が予約の前倒しで実施される事になったが市内には36か所の医療機関があるため、ワクチン接種の拡充を進めるには、「かかりつけ医」の協力を得て拡充できるのではないかと考えるがどうか。

その他の質問事項

- 市民生活無料法律相談の弁護士による法律相談について
- 赤穂城跡天守台からの眺望と看板等のあり方について

安心安全かつ迅速な新型コロナワクチン接種の取り組みを

南條千鶴子 議員



問 65歳以上の新型コロナワクチン未予約の方へのアンケート結果と対応はどうか。接種会場までの交通が困難な高齢者や障がいのある方への支援はどうか。寝たきり、障がいなど様々な理由で訪問やかかりつけ医による新型コロナワクチン接種を希望される方への取り組みはどうか。

その他の質問事項

- ヤングケアラーの支援について
- 生理の貧困について
- 祖父母手帳の発行について

定例会のあらまし

令和3年6月(第2回)定例会を、6月8日から24日までの17日間にわたり開催しました。

この定例会において、報告案件、一般会計補正予算、事件決議等の議案が提案され、全ての議案について、承認、可決しました。

また、請願と意見書それぞれ1件の審議を行い、どちらも全会一致で採択、可決となりました。

答 かかりつけ医での新型コロナウイルスワクチン接種については、医師会や医療機関の協力により実施している赤穂市民病院、赤穂中央病院、赤穂仁泉病院及び赤穂すこやかセンターの各会場における集団接種に加え、ワクチン接種の更なる拡充をはかるべく、個別接種の実施に向け医師会と協議を行っているところである。できる限り多くの医療機関に協力していただけるよう調整しているところである。



答 現在、65歳以上でワクチン未接種の方2,173名を対象として、6月末までに調査を実施しており、その結果に基づきワクチン接種を希望される方全てが接種できるよう対応する。ワクチン接種会場までの移動が困難な方への対応については、ワクチン未接種者の調査結果に基づき方策を検討の上対応する。寝たきりの方への訪問接種、かかりつけ医での接種については、医師会と訪問診療によるワクチン接種について等協議を行っているところである。



食品ロスの削減と福祉的活用に繋がるフードドライブ団体支援を

前川 弘文 議員



問 SDGsの目標12「つくる責任つかう責任」に掲げられる食品ロス廃棄の半減と未利用食品の福祉的活用で、「もったいない」を「ありがとう」に変えるフードドライブの取り組みを強力に進めるべきと考える。支援を必要とする人の把握など、市との連携も含めてフードドライブ団体の支援に取り組んでどうか。

その他の質問事項

- 相談窓口における弁護士・司法書士の配置について
- 相談窓口におけるオンライン相談の実施について
- 防災と福祉の連携について ● 高齢者向けスマホ教室の開催について

オンライン授業と登校選択制について

山野 崇 議員



問 新型コロナウイルスの影響で健康不安を感じている方だけでなく、不登校、長期にわたる病気療養など様々な事情で学校へ行けない方においてはオンライン授業や授業のライブ配信を望まれている方が多くいらっしゃると思います。その実施へ向けての取組、進捗はどうか。また登校選択制の実施についてはどう考えるか。

その他の質問事項

- 主権者教育の推進について

新型コロナウイルスワクチン接種について

土遠 孝昌 議員



問 65歳以上の方のワクチン接種については、既存会場のほか大規模接種会場を増設した結果、7月末には終了見込みとなるが、64歳以下の方の接種について、かかりつけ医での接種又は市民病院やすこやかセンターでの土・日接種など、今後市民の方が一日でも早く接種できる体制整備を考えられないか。

その他の質問事項

- 学校給食センターの考え方について

答 本市も構成員である「ひょうごフードドライブ推進ネットワーク」が中心となり全県展開を図っており、「フードバンクあこう」が持ち寄せられた食糧を子ども食堂などの関係団体へ届けたり、毎月2回総合福祉会館において、支援が必要な人へ配布する活動が行われている。新たにこの活動への参加を希望する団体があれば、兵庫県の補助制度の案内や関係団体との連絡調整を行う等の支援を考えている。今後もフードドライブ活動について庁内関係部署で連携を図り、各自治体の取り組み状況等を調査し支援に努める。



答 現在、全ての小中学校においてタブレット端末を活用した学習活動が実施されているところである。端末の持ち帰りについては、年度内には全ての学年において可能となるよう技能習得の時間を大幅に増やし取り組みを進めている。ライブ配信授業については、保護者の付き添いやハード面の充実が必要なことから現段階では現実的ではなくオンデマンド型やクラウド利用型の学習形態を優先して研究を進めている。また、登校選択制については学びの保障や心身の発達への影響を考え導入しない。



答 64歳以下の接種体制については、現在の医師会や医療機関による集団接種に加え、個別接種の実施によりワクチン接種の拡充を図れるよう努めている。個別接種の導入に伴い、すこやかセンターにおいて、これまでの集団接種の規模を縮小する分、土日の集団接種の開設を検討していきたい。赤穂市民病院での土日接種については、ワクチン接種対策本部と調整しながら出来る限りのことはやっていきたい。



ワクチン大規模接種会場（関西福祉大学）



昨年度から急増している、 待機児童問題への対応について

深町直也 議員



問 6月現在の待機児童・入所保留の数、今年度0歳児の待機児童が減った理由とコロナ禍の影響についてどう分析しているか。そして、来年度以降の待機児童への対応と認定こども園の検討の可能性、認定こども園の問題点についてどのように考えているか。

その他の質問事項

- 西有年・福浦の産廃計画について
- 新型コロナウイルスのワクチン接種について
- 市職員の汚職防止・綱紀粛正について

子ども・子育て支援 「認定こども園」への移行等について

中谷行夫 議員



問 幼稚園と保育所の両方の良いところを生かし、保護者の就労にかかわらず、就学前までのすべての子どもを受け入れ、幼児教育・保育を一体的に提供できる「認定こども園」。御崎地区では、平成31年度の移行予定が、なぜ移行に至らないのか。また、坂越幼稚園・保育所の老朽化に伴い、坂越地区での新設を検討すべきではないか。

その他の質問事項

- 防災・減災対策について
- 飼い主のいない猫不妊手術助成について

坂越地区の魅力向上に向けた 取り組みについて

荒木友貴 議員



問 赤穂観光アクションプログラムで、重点エリアの活性化として坂越地区の魅力向上が課題としてある。空家除却が進む中、古民家・まち並みを保全し、観光へ活用することに対しどのような手立てを講じるのか。また、坂越トンネル付近の市有地の利活用も踏まえたまちづくりの方針の見直しが必要と考えるがどうか。

その他の質問事項

- 新学校給食センター整備について
- ICT教育について

答

6月現在の待機児童は6名、入所保留は23名であり、待機児童数が減った理由として、申込人数の減少のほか本年4月からの幼稚園3歳児預り保育の実施及び正規職員の保育士の増員によるものと考えられる。また、0歳児の人口減少による少子化に加えコロナ禍の影響があった可能性があるものと考えられる。待機児童の解消に向けて、引き続き保育人材の確保に努めていく。認定こども園は、今後慎重に検討を進める課題と考えている。現時点では、本市の実情に応じた保育士の確保、預かり保育の推進等による保育の提供体制の整備に努めたい。



答

保育人材の確保が困難になったため、総合教育会議において、全幼稚園での3歳児保育については保育人材の確保状況に応じて段階的に実施することとし御崎地区の認定こども園については再検討を行うこととした。本市においては幼保一体化を推進しており、幼保一体となって保育ニーズの受け入れに努めている。施設の老朽化や待機児童の発生状況も含め、就学前教育・保育のあり方について検討を進める中で認定こども園については、今後の検討課題であると認識している。



赤穂市立御崎保育所



赤穂市立御崎幼稚園

答

空家となった古民家は、県と協同で実施する古民家再生促進支援事業により地域資源として再生し、まち並み景観の維持・保全に取り組んでいる。保全価値のある古民家を評価・選別することは、一般の方にとってハードルが高いことから引き続き県が派遣する建物調査や再生提案を行う専門家とのマッチング支援に取り組む。坂越トンネル付近の市有地の利活用も考慮した坂越地区のまちづくりの方針については、今後、地元の意向も確認しながら検討していく。



坂越地区のまち並み



近隣市をリードするような 64歳以下のワクチン接種を

家入時治 議員



問 市民病院の土日や時間拡大による接種枠拡大への協力、赤穂市医師会や開業医の協力はどの程度得られるのか。接種券の早急な配布と予約から接種までをスムーズに実行するためにも、基礎疾患を有する人、子どもたちと接する教職員や保育士、児童生徒、美化センター職員などを優先して予約・接種する考えはないか。

その他の質問事項

- 赤穂市制施行70周年記念事業について
- 赤穂観光アクションプログラムの成果と取り組みについて

第3子以降の給食費無償化で 市長公約は達成したのか

瓢 敏雄 議員



問 給食費無償化にはこれまで公平性の観点等から賛成できなかったが、人口減少、少子化、行政サービスの都市間競争への対策で取り組むべき課題と考える。無償化は未来の赤穂市を担う子どもたちへの投資だ。市長、一丁目一番地の政策ではないか。財源の一部には好調なふるさとづくり寄付金に頼ることはできないか。

その他の質問事項

- 市が管理する街路樹について

答

市民病院として、接種枠の拡大ができるような可能な限り協力を行うこととしている。また、個別接種の実施に向け、医師会と協議を行っていく。多くの医療機関において協力して頂けるよう調整している。個別接種の医療機関について、医師会から20施設程度の申出を頂いており全体で1日180から200枠での依頼を考えている。また、エッセンシャルワーカーへの優先接種については、前向きに検討していく。



ワクチン集団接種会場（すこやかセンター）

答

給食費の無償化については、私が市長就任後、財政状況の確認を行い、第3子以降を判断したものであるが、選挙公約を全て達成したものとは考えていない。また、学校給食費無償化については、恒久的な財源の確保が必要ではあるが、実施するにあたっては財政バランスを考慮しながら、赤穂ふるさとづくり寄付金の活用も検討していきたい。



新人議員研修会の開催

新人議員6名は、議員研修会に参加しました。議会基本条例、議員倫理、政務活動費及び赤穂市議会業務継続計画（議会BCP）の基礎について、議会事務局より受講しました。



市議会会議録をホームページで 公開しています

市議会の本会議と委員会の会議録は、赤穂市議会のホームページからご覧になれますので、是非ご利用ください。

インターネットで配信しています

市議会本会議の映像を、ライブと録画により、インターネットで配信しています。また、令和2年4月以降分についてはスマホ・タブレット等でも閲覧可能です。

傍聴に来られない方は、赤穂市議会のホームページからご覧になれますので、是非ご利用ください。



6月(第2回)定例会提出議案に対する議員別賛否一覧表

賛成：○ 反対：× ※議員は議席順

| 議案番号 | 件名 | 議決結果 | 前田尚志 | 中谷行夫 | 井田佐登司 | 南條千鶴子 | 荒木友貴 | 安田哲 | 山野崇 | 西川浩司 | 奥藤隆裕 | 土遠孝昌 | 榊悠太 | 家入時治 | 前川弘文 | 田淵和彦 | 深町直也 | 瓢敏雄 | 釣昭彦 | 山田昌弘 | |
|----------------------|--|------|------|------|-------|-------|------|-----|-----|------|------|------|-----|------|------|------|------|-----|-----|------|---|
| 報第8号 専第4号 専第5号 | 専決処分の報告について 令和2年度赤穂市一般会計補正予算 令和2年度赤穂市職員退職手当管理特別会計補正予算 | 承認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第57号議案 | 令和3年度赤穂市一般会計補正予算 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第58号議案 | 赤穂市税条例等の一部を改正する条例の制定について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第59号議案 | 赤穂市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第60号議案 | 赤穂市手数料条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第61号議案 | 赤穂市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第62号議案 | 赤穂市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第63号議案 | 赤穂市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第64号議案 | 赤穂西中学校（A棟）大規模改造工事請負契約の締結について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第65号議案 | はしご付消防自動車取得契約の締結について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 請願審議結果 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第1号 | 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2022年度政府予算に係る意見書採択の要請について | 採択 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 意見書審議結果 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第1号 | 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2022年度政府予算に係る意見書の提出について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

議長のため、表決には加わりません。

6月(第2回)定例会報告案件

| 報告番号 | 件名 |
|-------|---------------------------|
| 報第9号 | 令和2年度赤穂市一般会計予算の繰越しについて |
| 報第10号 | 令和2年度赤穂市水道事業会計予算の繰越しについて |
| 報第11号 | 令和2年度赤穂市下水道事業会計予算の繰越しについて |

●●●●● 常任委員会等審査から（主な質疑） ●●●●●

● 民生生活

6月14日に開催し、付託された第57号議案関係部分など3議案を慎重審査した結果、全会一致で原案通り可決すべきものとされました。

<子育て世帯生活支援特別給付金支給事業について>

● 問 給付対象者について

- 答 令和2年度は住民税の課税があり、令和3年1月以降に新型コロナウイルス感染症の影響で所得減となった者に対し、所得減となった月の所得状況を提出してもらい、それを12倍した年収見込額が住民税の非課税である者と同様の事情にあると認められる者が対象となる。

<赤穂市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について>

● 問 改正内容について

- 答 福祉医療は県との共同事業であり、訪問看護療養費はこれまで福祉医療の対象外としていたが、近年の在宅医療の進展等により訪問看護ステーションの役割が変化してきたことに加え、重度患者の利用が増加していることから福祉医療の対象とするものである。

総務文教 6月16日に開催し、付託された第57号議案関係部分など5議案を慎重審査した結果、全会一致で原案通り可決すべきものとされました。

<特定教育・保育施設給付事業について>

- 問 補助金交付先の保育施設の定員及び定員60名を境界とした保育所1園当たりの保健衛生用品の整備費用の差について
- 答 補助金交付先となる保育施設は定員75名である。また定員60名を境界とした整備費用の差は県で示された基準である。

<幼稚園費 感染対策事業について>

- 問 保健衛生用品整備としてのマスクの使用者及び小・中学校用のマスクの整備について
- 答 必要に応じて職員用又は児童用として整備する。小・中学校用のマスクは既に整備済みであり、全学校において現時点での充足状態を確認している。

請願の審査 (総務文教)

請願1件について慎重審査した結果、全会一致で採択すべきものとしました。

<少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2022年度政府予算に係る意見書採択の要請について>

- 請願項目にもあるように30人以下学級とすることは必要である。
- 義務教育費の国庫負担を現行の3分の1から2分の1へ引き上げることは必要である。

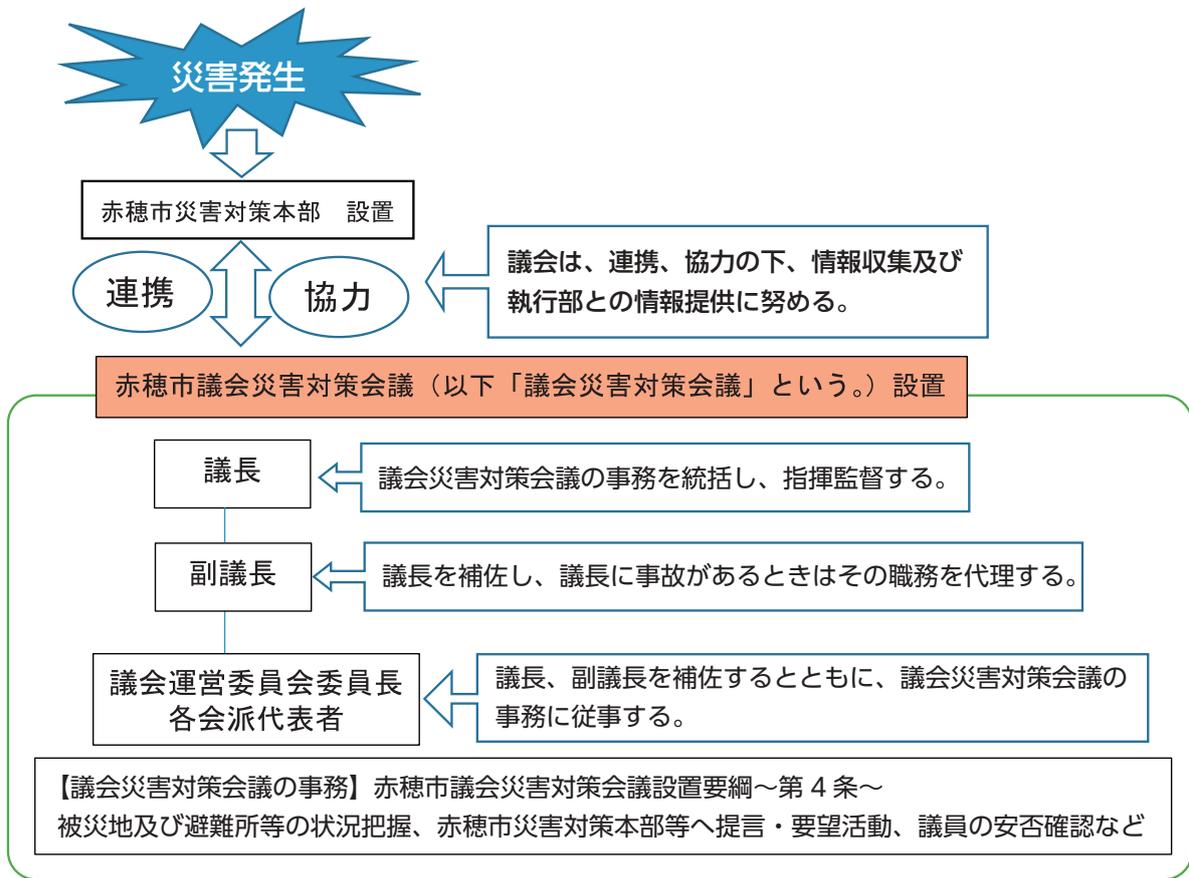
議会活性化に関する取り組み

市民の皆様により開かれた身近な議会を目指すため、議会活性化に取り組んでいます。

令和2年度は「災害時(コロナ禍を含む)における議会としての在り方」について協議した結果、新型コロナウイルス感染症も含めた災害時における議会の在り方を定める「赤穂市議会業務継続計画」(議会BCP)を赤穂市議会の内規として策定しました。

赤穂市議会のホームページにて公開しておりますので、どうぞご覧ください。

～赤穂市議会災害対策会議のフロー図～





議会活動状況 (令和3年5月～7月)

5月／

- 11日・議会災害対策会議
- 20日・建設水道委員会協議会
- 21日・会派代表者会
・議会災害対策会議

6月／

- 1日・議会運営委員会
・会派代表者会
- 8日・本会議[第2回定例会開会]
(報告・議案説明等)
- 11日・本会議(議案質疑等)
- 14日・民生生活委員会
・民生生活委員会協議会
- 15日・建設水道委員会協議会
- 16日・総務文教委員会
・総務文教委員会協議会
・会派代表者会
・議会運営委員会
- 23日・本会議(一般質問7名)
- 24日・本会議(一般質問3名・議案表決等)
[第2回定例会閉会]
・議会報編集委員会
- 25日・建設水道委員会協議会
- 28日・議会災害対策会議

7月／

- 6日・議会運営委員会
・総務文教委員会協議会
- 15日・議会報編集委員会
- 16日・議会運営委員会
- 26日・議会報編集委員会
- 29日・議会運営委員会
- 30日・議員研修会(産廃処分場建設予定地現地視察)

☆9月定例会・常任委員会の日程(案)☆

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------|--------------|----------------------|----------------------|-----------------|-----------------|------|
| | | | 9/1 | 9/2 | 9/3 | 9/4 |
| | | | | | 本会議 (1日目) | |
| 9/5 | 9/6 | 9/7 | 9/8 | 9/9 | 9/10 | 9/11 |
| | 本会議 (2日目) | | 民生 生活 委員会 | 建設 水道 委員会 | 総務 文教 委員会 | |
| 9/12 | 9/13 | 9/14 | 9/15 | 9/16 | 9/17 | 9/18 |
| | | | | | | |
| 9/19 | 9/20 | 9/21 | 9/22 | 9/23 | 9/24 | 9/25 |
| | (敬老の日) | 本会議 (3日目) 一般質問 | 本会議 (4日目) 一般質問 | (秋分の日) | 本会議 (予備日) | |

※いずれも午前9時30分から開催予定です。
※委員会は原則公開で、開会後の委員会室の出入りは休憩中を原則としています。

議員表彰の伝達

全国市議会議長会から

竹内 友江氏、小林 篤二氏に

永年勤続(20年)で表彰状

去る5月26日に開催されました第97回全国市議会議長会定期総会において、前議員の竹内 友江氏、小林 篤二氏が永年勤続議員(20年以上)として表彰されましたので6月8日開催の本会議冒頭に議長から表彰状の伝達を行いました。



議員協議会の開催

4月12日(月)に赤穂市役所6階大会議室にて議員協議会を開催いたしました。

選挙後の初会議また初顔合わせとなり、自己紹介をはじめ4月20日(火)に開催されました臨時会の議事運営や今後の議会運営などにつきまして協議を行いました。



編集後記

*残暑お見舞い申し上げます。

毎日暑い日が続きますが、日頃から体調面に気を配り、熱中症にならないように心掛けましょう。市民の皆様には、常日頃より新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力いただき、心より感謝と敬意を表します。引き続き、感染防止対策にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

*今月号は6月(第2回)定例会の内容を中心にお知らせしました。